



## 世界遺産平泉・秋田県増田地区に行ってきました！！

7月2～4日に、世界遺産合掌造り保存財団が主催する視察研修が開催されました。守る会委員及び荻町住民総勢20人が参加する意義ある研修会となりました。視察地は、元白川村教育長柿崎先生の故郷である秋田県横手市増田町と、昨年世界遺産に登録された岩手県平泉の2か所を訪れました。

増田町は、奥羽山脈の裾野にある岩手県と宮城県に通じる交通の要で、繭や生糸、葉たばこの生産をはじめ、藩政時代から商人地主町として栄えてきました。同地区には50軒以上の蔵が残り、倉庫としての活用だけでなく、内蔵と呼ばれる内部に居住空間を設けた特色ある蔵が多く存在します。現在重要伝統的建造物群保存地区選定に向け調査が行われている地区です。柿崎先生にもご案内いただき、柿崎先生の実家やご兄弟の内蔵も拝見させていただきました。

平泉は、仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群として中尊寺、毛越寺、観自在王院跡、無量光院跡、金鶏山の5か所を構成資産として平成23年6月に世界遺産に登録されました。史跡や特別史跡として遺産を守る平泉は、伝建地区として遺産を守る白川郷とはタイプを異にする世界遺産ではありますが、行政担当者より資産の概要と観光客の動向を中心にお話をうかがうとともに、中尊寺や毛越寺を中心に見学しました。

研修に参加された皆さんより感想をお寄せ頂いていますので、その一部を掲載し研修報告といたします。



【増田地区の町並み】



【家の中に建てられている内蔵】



【柿崎先生の実家を背景に】



【平泉世界遺産センターにて担当者より説明】

### ○増田町を視察して

- ・内蔵に魅力を感じた。雪国の商人の生活がそのまま建物に表れていて、今まで見たことのない迫力を感じた。
- ・内蔵の存在が当たり前だと思っていた住民や行政が、その価値に気づき、故郷を誇りに思い保存活動を進めている。その姿が40年前の荻町とダブって見えた。増田町にとって内蔵は、荻町の合掌家屋と同じであり、その存在の素晴らしさに気づくことが保存や活用、地域への誇りにつながっていったのだと感じた。増田町のパワーを見習い、白川も初心に戻って頑張りたい。
- ・周りを整頓すること、軒下に土産物を出さない景観がいい。
- ・ゴミ収拾場所の箱が木製で景観に合っていた。ぜひ荻町でも。
- ・柿崎先生宅では、おもてなしの神髄を学んだ。お茶に地元のお菓子、果物、漬け物でお客様を温かく迎え入れる姿、障子の張り替えや庭を手入れし、玄関に通じる小道には帚で掃きならした跡が。故郷を語る言葉には愛情と誇りが感じられ、今できることでお客様を精一杯もてなす心と行動に感激し癒された。

### ○平泉を視察して

- ・中尊寺金色堂は素晴らしかった。毛越寺や他の構成資産は、やはり藤原氏の歴史や浄土思想を理解してこそ見応えのある場所

だと思うので、来訪者にいかに情報提供していくかが重要。

- ・沿道住民の自主設置による街角休憩所や住民を対象としたおもてなし講習会を開催しているとのこと。また、おもてなしマニュアルを作成し全戸配付を予定しているとのことなので、それらを手に入れ、白川にも取り入れたい。
- ・地図にウォーキングコースが記されていた。荻町の地図にもお客様にお勧めできるコースの記載を考えたい。それがお客様へのサービス向上とともに誘客の分散化にもつながる。
- ・平泉に世界遺産センターがあったが、世界遺産を理解いただくビジターセンターが荻町周辺にも絶対必要。
- ・白川とちがいお客様が生活の場所に立ち入ることが少ないのでうらやましく感じた（見学場所が独立している）。
- ・平泉とちがい白川郷は住民の生活の場所が世界遺産となっている。だからこそ駐車場問題やお客様のマナーをはじめ、白川の悩みの深さや大きさを痛感した。まだまだ時間がかかるかもしれないが、みんなが協力して解決していかねばと感じた。



【中尊寺境内にある経堂】



【毛越寺庭園にてガイドさんの説明】

### ○研修全体を通して

- ・ゴミの無いきれいな白川を目指したい。
- ・タバコやジュースの販売機の色が景観に配慮されていた。
- ・ガイド育成が望まれる。今回の研修でも、説明を聞いて回るのとただ通り過ぎるのでは全然違う。故郷のよさ、合掌造りの文化を多くの観光客に伝えたい。
- ・白川にはもっと休憩できる場所が必要。ベンチやイスを所々に置くだけでもいいのでは。
- ・白川は散策が楽しい観光地を目指すべき。そのためには、散策ルートの開発や説明付きの充実した地図の作成が必要。
- ・普段の旅行では得られない、担当者や行政の話が聞けとても良かった。ぜひ次回も参加したい。
- ・守る会委員以外にも沢山の方々に参加くださり感謝。参加者は、研修で感じたことをどんどん地域住民に広め活かして欲しい。
- ・素晴らしい研修を企画してくださった合掌財団に心より感謝。

【文責:和田】

## 守る会活動スローガン ～守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

## ＝ 6月の活動報告 ＝

- 6月 1日 白川中学校1年守る会の話（会長）
- 6月 8日 6月定例会
- 6月 11日 ねそ6月号配付
- 6月 19日 私設有料駐車場意見交流会（13名参加）
- 6月 28日 集落まわり（会長・副会長・総務部長）
- 6月 29日 荻町交通対策委員会・役員会
- 6月 30日 現状変更申請現地調査（役員）

8月の定例会は10日(金)公民館にて開催を予定しています。

### ＝ 区民の皆様へ ＝

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は財団に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆様のご理解ご協力をお願いします。

### ☆7月の協議事項（現状変更申請に関わって）☆

- \*\*\*\*\*墓の設置
- \*\*\*\*\*家屋の解体
- \*\*\*\*\*合掌家屋軸部修理

- \*\*\*\*\*工場屋根トタンの葺き替え
- 白川村・・・災害防除事業（法面工）